

平成24年度 第1回 岐阜県汚染土壌対策検討委員会 議事要旨

日 時 : 平成24年12月20日(月) 13:28~15:10

場 所 : 岐阜県庁12南1会議室

出席者 : 委員、オブザーバー、事務局(技術検査課)、関係機関(森林整備課、道路建設課、郡上農林事務所、岐阜土木事務所等)

司会・議事進行

司会 : 技術検査課(佐賀技術課長補佐兼係長)

議事進行 : 佐藤委員長

議題等

1. あいさつ(事務局)
2. 議題
 - 1) 林道「和良・明宝線」モニタリング報告について
 - 2) 日当平野トンネル モニタリング報告について

議題等内容

1. あいさつ(事務局)(三輪技術検査課長)

本委員会は平成20年12月に発足し、これまで3回開催し土壌汚染対策について審議していただいた。本日は、2件の報告が行われる。委員におかれましては、忌憚のないご意見、ご指導をお願いする。

2. 議題

1) 林道「和良・明宝線」モニタリング報告について

森林整備課(細野技術課長補佐兼係長)

①前回の委員会検討結果及びその対応について

②水質モニタリングの調査結果

(1)トンネル湧水とヒ素濃度

・環境基準を超過するヒ素濃度が継続。濃度流量とも若干減少傾向が認められる。

(2)相谷川周辺の水質分析結果

・トンネル湧水の放流地点より下流では環境基準を超過する状態が継続(降雨後は一時的に基準値以下)。吉田川合流後は希釈され環境基準値以下。

委員の意見

(篠田委員) これまで湧水量にかかわらずヒ素濃度はほぼ一定だったが、2010年以降は湧水量が増えると、ヒ素濃度が若干低下する傾向が認められる。また降雨後に湧水量が増加するまでのタイムラグが徐々に短くなっている。透水係数が大きくなってきているのではないか。

(寺尾委員) 森林整備課からトンネル湧水についてヒ素濃度が減少傾向にあるという説明があったが、そう判断するのは早計である。今後も推移を見守っていくべきである。

森林整備課(細野技術課長補佐兼係長)

③現地の施工状況について

(1) 残土封じ込め盛土の施工状況について

・3工区および4工区の封じ込め盛土について、平成24年4月に路面舗装工事が完了し、トンネル残土封じ込め工事は完了。8月22日より道路の供用を開始。

(2) トンネル湧水排水管の施工状況

・12月25日に完了予定。

④今後について

(1)水質モニタリングについて

- ・相谷川周辺水質モニタリングについては、現行頻度で盛土完了後2年間（平成26年3月まで）、県が実施。
- ・平成26年4月以降は、「和良・明宝線トンネル湧水に係る水質調査計画」に従い、2ヶ所で郡上市がモニタリングを実施。

委員の意見

- (竹中委員) 河川の採水時期は平常時か。
- (篠田委員) 現在は特に決められていないが、年4回の採水は平常時か洪水時か決めておいた方がよい。
- (寺尾委員) 採水時写真撮影を行うことを文書に明記してはどうか。また、現地にマーキングすることを検討願います。
- (佐藤委員長) 年4回の採水は平常時ということによろしいですね。
(異議なし)

2) 日当平野トンネル モニタリング報告について

岐阜土木事務所 (大日コンサルタント(株) 若原)

- ・土壌汚染対策の経緯、現在の現地状況、水質調査の変更点に対する個別対応結果、水質モニタリング調査の中間報告、及び今後の方針について説明。
- ・門脇地区について、平成24年6月舗装完成。水質モニタリングは、7月から3ヶ月に1回の頻度で舗装完了後2年間（平成26年7月まで）行う。ヒ素は全調査において基準値以下。
- ・電気伝導率や鉄の検出に留意しながらモニタリングを行う。

委員の意見

- (篠田委員) 調査前降水量は、例えば調査前24時間降水量などとしたほうがよい。
- (小嶋委員) 吸着層の成分が知りたい。例えばMSDS（製品安全データシート）などを提供願いたい。

=====

作成者：林政部 森林整備課
 県土整備部 道路建設課
 県土整備部 技術検査課
 郡上農林事務所
 岐阜土木事務所